

東北大学・会津大学学生団体合同企画

地方創生を考える ワークショップ

東北大学 IEEE Student Branch

Chair 宮下 直己

会津大学 IEEE学生グループ

Chair 金田 祐也

目次

- 経緯
 - 電気関係学会東北支部連合大会～学生交流会～
- 地方創生を考えるワークショップ
 - 開催概要
 - ワークショップの様子
 - 今後の課題
- 今後の合同活動について

ワークショップ開催の経緯

電気関係学会東北支部連合大会 ~学生交流会~

- 8月30-31日に開催された電気関係学会東北支部連合大会にて、IEICE東北大学学生ランチとIEEE東北大学SBが合同で学生交流会を企画・運営
- 会津大学のIEEE学生グループに交流会の協力を呼びかけ
 - 会津大学のIEEE学生グループ(非公式団体)は2015年12月に発足した

東北大学と会津大学で共同で交流イベントを行いたい



距離の問題
-> 移動費、宿泊費をどうするか？

企業などを巻き込んだ、新しい交流方法を考案

ワークショップ開催の経緯

～学生交流の機会を設けるために～

企業などに対してメリットを提示

東北地方の特性を活かす



東北エリアにある問題を対象にした
ワークショップの開催

- 過疎地域が増えている東北には様々な問題がある
 - 地域特性の考慮、地方行政との連携など
- 学生と直接交流する機会の創出
 - 企業のリクルーティングの機会など

地方創生を考えるワークショップ

～開催概要～

- 日時: 2016年11月19-20日 (土-日)
- 場所: 福島県大沼郡三島町
- 参加人数: 22人
 - 東北大学3名、会津大学6名
 - 三島町、昭和村、喜多方市、会津若松市、南相馬市、岩手県大船渡町
- 進行: サービスデザインの手法に則って進行
(司会は株式会社Eyes, JAPAN様の薄井様が担当)
- 協力会社: 株式会社Eyes, JAPAN、株式会社toor

地方創生を考えるワークショップ

～開催概要～

19日 (土)	13:30-17:30	開会式、ワークショップ
	17:30-19:00	夕食準備、交流会
	19:00-20:30	近くの温泉に移動、入浴
	21:00-22:00	ワークショップ再開、チームビルディング
	22:00-	自由時間
20日 (日)	9:00-11:00	ワークショップ再開
	11:00-12:00	成果発表、閉会式
	12:00-12:30	清掃、解散



地方創生を考えるワークショップ

～開催の様子～



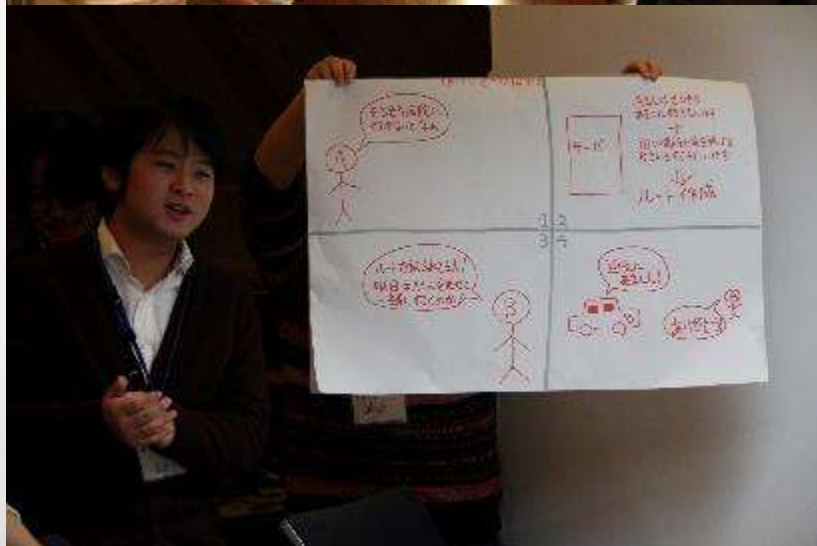
地方創生を考えるワークショップ

～開催の様子～



地方創生を考えるワークショップ

～開催の様子～



地方創生を考えるワークショップ

~今後の課題~

- 同様の活動の持続
 - 福島県会津地方だけでなく、東北の他地方における開催など
- 費用面の問題解決
 - 岩手や秋田などの大学生なども含めるには、移動に掛かる費用を軽減するための方法などを考える必要がある
 - 地方の問題解決に理解のある企業への協力の要請
- 開催するためのルーチンの確立
 - 企画から開催までに様々な手間がかかるため、開催するための作業時間軽減を図る方法の考案

今後の合同活動について

- 東北エリアにあるより広い大学を巻き込んだ合同活動の企画
 - 連合大会の学生交流会などを通して、学生活動に興味のある学生を勧誘し、より多くの大学を巻き込んだ企画を行えるようにする
 - 連合大会にて、学生活動の紹介にとどまらず、実際にワークショップ形式のイベントを実施することで学生活動のイメージを持ってもらう
 - 各県にてイベントを開催することで開催地の大学を勧誘
- 学生の研究活動促進のための講演会などを企画
 - 論文執筆だけに限らず、研究を行うために必要な最低限の知識・技術を蓄える講演会やワークショップなど
例. 講師を招聘しデザイン思考のワークショップ開催

**東北エリアにある学生が集まれる機会を増やすこと
に焦点を置いた活動を**

ご静聴 ありがとうございました

